

製品名: SilkCentral Test Manager 12.0

出荷開始日: 2012 年 4 月 16 日

1. はじめに

マイクロフォーカスは、テスト管理ツールの新バージョンである SilkCentral Test Manager 12.0 をリリースいたします。

2. システム要件

SilkCentral Test Manger 12.0 は下記の環境をサポートします。

アプリケーション, フロントエンドおよびチャートサーバー	実行サーバー	ブラウザサポート
<p><u>Windows OS</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Windows XP SP2 以降 ➤ Windows Server 2003R2 SP2 ➤ Windows Server 2008 ➤ Windows Server 2008R2 SP1 64 bit <p><u>Web サーバー</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ IIS 6 32 bit/64 bit ➤ IIS 7 32 bit/64 bit ➤ Micro Focus スタンドアロン Web サーバー (Tomcat) <p><u>データベース</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Microsoft SQL Server 	<p><u>Windows OS</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Windows XP SP2 以降 ➤ Windows XP 64 bit SP 1 ➤ Windows 7 32 bit SP1 ➤ Windows 7 64 bit SP 1 ➤ Windows Vista Ultimate 32 bit ➤ Windows Server 2003R2 SP2 ➤ Windows Server 2008 ➤ Windows Server 2008R2 SP1 64 bit <p><u>Linux OS</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Ubuntu ➤ Redhat Enterprise Linux ➤ Debian ➤ Suse Linux 	<p><u>Windows OS</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Internet Explorer 8.x ➤ Internet Explorer 9.x ➤ Mozilla Firefox ➤ Chrome

<p>2005 SP 3</p> <ul style="list-style-type: none">➤ Microsoft SQL Server <p>2005 SP 2</p> <ul style="list-style-type: none">➤ Microsoft SQL Server <p>2008 R2</p> <ul style="list-style-type: none">➤ Oracle 10g (version 10.2.0.5)➤ Oracle 11g (version 11.2.0.2)		
--	--	--

3. SilkCentral Test Manager 12.0 の新機能

> 手動実行計画

- > 新しい手動実行計画アプローチは、手動テストの選択、配分、実行を支援し、限られた時間とリソースのもとで最大限の品質目標を達成するのに役立ちます。時間とリソースは、テストサイクルのコンテキストにおいて同時に管理されます。テスト サイクル は、手動テスト担当者とは各担当者に割り当てられたテスト群が指定された期間を表します。テスト サイクルの手動テスト担当者ごとに最大利用可能時間を指定できます。最大利用可能時間とは、テスト担当者がそのテストサイクルで利用可能な総テスト時間を指します。
- > テスト管理者にとって、新しい手動実行計画 ページは、テスト全体の進捗を効果的に計画立てるために利用できます。この新しいページの情報から、以下のような質問の回答を読み取ることで、非常に重要な質問である「手動テストを期限内に完了できるだろうか？」への回答が得られます。
 - どの手動テストが実行されるか？
 - いつ手動テストが実行されるか？
 - 誰が手動テストを実行するか？
 - 現在のテストサイクルにおけるテストの進捗状況はどの程度か？
- > 手動テスト担当者にとって、新しい手動実行計画 ページは、特定の期間で完了する必要のあるテストが正確に表示されるため、自分の作業を効率的に優先付けするのに役立ちます。
- > 新しい手動実行計画のアプローチは、新しいダッシュボードと密接に連携します。

> マイダッシュボード

- > Test Manager のダッシュボードは、ユーザー個人用の開始領域です。日常作業に必要な情報を提供するさまざまなパネルを追加し、並べ替えることによりカスタマイズできます。ダッシュボードに追加できるパネルは以下のとおりです。

レポート	説明
カスタム情報	プロジェクトのカスタム情報が表示されます。ユーザーは、ニュースや説明などあらゆる種類の関連する内容をパネルに追加できます。
はじめに	Test Manager に関する簡単な説明が表示されます。

問題のライフサイクル	定義済みの問題追跡プロファイルに対する問題およびそのステータス (対応開始、解決、検証終了、対応完了、先送り) が表示されます。
テスト担当者ごとの作成済み問題数	テスト担当者ごとの作成済み問題数を棒グラフで表示します。.
ユーザーに割り当てられた手動テスト	ユーザーが実行するよう割り当てられた特定のプロジェクトのテストをすべて表示します。このパネルを使用すると、すばやくテスト作業を継続でき、全テストに関する詳細情報を取得できます。
品質目標の進捗	品質目標を達成するために実行する必要があるテスト数を、実際に実行したテスト数と関連付けて表示します。実行したテストは、合格、失敗、未実行および N/A (利用不可) に分類されます。
要件カバレッジのステータス	手動テストまたは自動テストにより要件がカバーされているかを表示します。
テストサイクルの進捗状況	定義されたテストサイクルの合格、失敗、実行中および未実行テストのバーンアップチャートを表示します。
テストサイクル結果の概要	このパネルには、選択したテストサイクルのステータスおよびテストサイクルに割り当てられている各テスト担当者の進捗ステータスが表示されます。
全テストサイクルにわたるテストの進捗状況	予定されたテスト、実行中のテストおよび完了したテストの時間(単位は時間) を表示します。このパネルは、テスト チームが時間内にテストを完了させることができるかどうかをテスト管理者が予測するのに役立ちます。
不安定なテスト	定義した期間内にテストのステータスが変更された回数が表示されます。

> 手動テストの実行

- > 手動テストの実行に関する拡張機能は以下の通りです。
 - > 手動テスト用の Web UI でのビデオ キャプチャ
 - 手動テスト実行で Web UI を使用する手動テスト担当者が実行ビデオをキャプチャできるようになりました。このようなビデオは後で結果ファイルとして使用できます。
 - > 手動テストステップに問題を割り当てる

- この新しい機能により、手動テストステップに問題を直接割り当てることができるようになります。作成した問題には、リンクとして作成されたステップに関する情報が含まれます。このリンクをクリックすると、ユーザーは SilkCentral Test Manager のステップに直接移動できます。

> リスクベーステスト

- > リスクベーステストに関連する機能拡張は以下の通りです。

- > 計算プロパティ

- 計算プロパティは、内部プロパティやカスタムプロパティの値を使って定義した数式から計算された 1 つの値を作成するために使用されます。計算された値は、分類と呼ばれるラベル付けされた範囲に分けられます。計算プロパティの例として、**リスク**について考えます。リスクは、他の 2 つのプロパティを基に計算されます（たとえば、優先度 * 影響）。この計算の結果は、それぞれの要件ごとに **低**、**中**、**高** のような分類にマップされます。これらの分類は、SilkCentral Test Manager のさまざまな場所に表示され使用できます。

> 管理

- > システム管理機能に関する機能拡張は以下の通りです。

- > システム診断

- ヘルプ> バージョン情報 の新しい **システム診断** 機能により、ユーザーは関連するシステム設定とログをすばやく確認し、ダウンロードすることができます。

- > 削除アクセス許可

- SilkCentral Test Manager のほぼすべての資産に対して、従来の管理アクセス許可から削除アクセス許可が独立しました。問題が発生しないよう、カスタマイズしたロールを確認してください。

> ユーザビリティの強化

- > ユーザビリティ（使い勝手）に関する機能拡張は以下の通りです。

- > フィルタのコピー

- 既存のフィルタを再利用して新しいフィルタを作成できるようになりました。新しい機能は **要件**、**テスト**、または**実行計画** 領域のツールバーで使用できます。既存のフィルタから新しいフィルタを作成するには、既存のフィルタをコピーし、フィルタのプロパティを編集し、編集済みのフィルタを別の名前でも新しいフィルタとして保存します。

- > 実行計画の実行のコメント

- 実行計画の実行ページで実行計画の実行にコメントを追加できるようになりました。既存のコメントを編集するには、実行計画の実行を右クリックし、実行コメントの編集を選択します。
- > 結果ファイルを削除する
 - 手動テストの現在の実行 ページの テストの詳細 領域で、結果ファイルを削除できるようになりました。
- > データ駆動型プロパティの削除
 - データ駆動型テストを使用していて、テストツリーの特定のテストに対してデータ駆動型プロパティを割り当てている場合、そのプロパティが不要になったら削除できるようになりました。SilkCentral Test Manager のこれまでのバージョンでは、データ駆動型プロパティを非アクティブにできましたが、完全に削除することはできませんでした。
- > 電子メールハイパーリンク
 - オンラインヘルプの各トピックの一番下に、このトピックについてフィードバックを送信するというハイパーリンクが表示されるようになりました（英語のみ）。
 - リンクをクリックして、このヘルプのページに関するフィードバックを送信してください。

> インテグレーション製品の追加

- > Silk Central Test Managerと統合できる他社製品は以下の通りです。

製品名	バージョン
IBM Rational DOORS	バージョン 9.3
Oracle 10g	バージョン 10.2.0.5
Oracle 11g	バージョン 11.2.0.2
VMware vCenter Lab Manager	バージョン 4.0.4
Changepoint 2010	Changepoint 2010SP1 に付属の Compuware Quality manager
Bugzilla	バージョン 4.0
MSTest	Web サービス、Visual Studio 2010/Test Agent 2010 と共に配布されている MSTest をサポートするようになりました。
Microsoft Office Word	Microsoft Office Word 2007 .docx ファイル形式をサポートするようになりました。画像とその他の埋め込みオブジェクト(OLE) (PDF、Excel など) が要件の添付ファイルとして検出され、インポートされます。説明にハイパーリンクを含めることができます。

- > Web サービスの機能拡張
 - > プロジェクトのコピー API
 - Web サービス API を使用して、プロジェクトをコピーできるようになりました。ユーザー インターフェイスで指定できる設定と同じ設定を指定できます。

4. SilkCentral Test Manager 12.0 の評価版入手方法

SilkCentral Test Manager 12.0 の評価版は以下の URL から申し込みできます。製品はインストールした日から 30 日利用できます。

<http://www.microfocus.co.jp/products/AMQ/product-trials/>